

運命の悲劇。

野望が織りなす、



JOIN US!

この「マクベス」は二人芝居による参加型演劇です。4～5名の観客がステージに上がり、本場の役者と一緒に英語劇を演じることができます！

Macbeth

マクベス

STORY

勇猛果敢だが小心な一面もあるスコットランドの将軍・マクベス。野心に満ちた妻にそそのかされ、主君殺しに成功したマクベスは王位についたのも束の間、今度は夫人とともに復讐の恐怖に翻弄されます。運命の導く先で二人が見たものは…。

2024.10.11 Fri.

名古屋外国語大学

【現代英語学科・ワールドリベラルアーツセンター(WLAC)共催】

名駅キャンパス 多目的ラボ 定員:80名

公演時間 16:45~18:30

問合せ先:名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

Tel: 0561-75-2164(直通) (平日 10:00 ~ 16:00)

右のQRコードからお申し込みください。

10月3日(金)締切。定員に達し次第終了。

URL: <https://req.qubo.jp/wlac/form/20241011>



Toby Martin

トビー・マーティン

経験豊富な俳優兼脚本家。クイーンズランド・シアター・カンパニーをはじめ、様々な舞台で活躍。英語教育劇にも精通し、2度目の日本ツアー中。



Ella Jaz Macrokanis

エラ・ジャズ・マクロカニス

俳優・シンガー・ダンサーとして多様な才能を持つエラは、オーストラリア演劇界で若手リーダーとして注目されています。今ツアーで初来日。

World Liberal Arts Center  WLAC

劇団: THAT Production Company

演出: Timothy Wynn

協力: (株) タラント

■ 本公演について

シェイクスピアの古典劇を体感

2024年秋、オーストラリア東海岸で活躍する劇団 THATプロダクション・カンパニーがシェイクスピアの不朽の名作『マクベス』をもって来日。各教育機関にて上演を行います。

野心と欲望、その果てに待ち受ける不可避な運命を描いたシェイクスピア悲劇の代表作『マクベス』。この悲劇を、ヨーロッパ各国やオーストラリアにてシェイクスピア劇の鍛錬を積んだ実力派の役者が演じる、待望の日本公演です。

観客を巻き込むステージ構成

教育英語劇として、観客も参加可能なステージとなるよう工夫を凝らした本公演。客席も巻き込む演劇で、美しいシェイクスピアの名台詞の数々をネイティブ・スピーカーの生の声で間近に堪能できると共に舞台へと没入できる貴重な体験を提供します。

不朽の名作に新たな視点を

男女の二人芝居で上演されるこの『マクベス』では、主人公のマクベスおよびレディ・マクベスという一組のカップルの関係性に焦点を絞ります。親密な人間関係だからこそ起きる内面の葛藤、野心の暴走、そして最終的に行き着く狂気からの破滅を、鮮やかに描き出します。原作に忠実ながら深い心理描写を軸に進む本公演では、現代の観客の胸に印象深いメッセージが届けられることでしょう。

■ マクベス人物相関図

